- Z は標準正規分布 N(0,1) に従う確率変数である. この とき,正規分布表を用いて,次の確率を求めなさい. 【各5 点】
 - (1) $P(-0.97 \le Z \le 0)$

$$=P(0 \le Z \le 0.97)$$

- $=\Phi(0.97)$
- =0.33398.

(2) $P(0.51 \le Z \le 2.22)$

$$= P(0 \le Z \le 2.22) - P(0 \le Z < 0.51)$$

- $=\Phi(2.22) \Phi(0.51)$
- =0.48679 0.19497
- =0.29182.

(3) $P(1.57 \le Z)$

$$=1 - P(Z < 1.57)$$

$$=1-(0.5+P(0 \le Z < 1.57))$$

$$=0.5 - P(0 \le Z < 1.57)$$

- $=0.5 \Phi(1.57)$
- =0.5-0.44179
- =0.05821.

- $\mathbf{2}$ X は期待値 $\mu = 140$, 分散 $\sigma^2 = 25$ の正規分布に従う確 率変数である. このとき, 正規分布表を用いて, 次を求め なさい. 【各5点】
 - (1) $P(137.4 \le X \le 152.3)$

$$=P\left(\frac{137.4 - 140}{5} \le \frac{X - 140}{5} \le \frac{152.3 - 140}{5}\right)$$

$$=P\left(-rac{2.6}{5} \le Z \le rac{12.3}{5}
ight)$$
 【2点】

$$=P(-0.52 \le Z \le 2.46)$$

$$=P(-0.52 \le Z \le 0) + P(0 \le Z \le 2.46)$$

$$=\Phi(0.52) + \Phi(2.46)$$

$$=0.19847 + 0.49305$$

- =**0.69152**. 【3点】
- (2) $P(X \le 131.1)$

$$=P\left(\frac{X-140}{5} \le \frac{131.1-140}{5}\right)$$

$$=P\left(Z \le -\frac{8.9}{5}\right) = P\left(Z \le -1.98\right)$$
 【2点】

$$=P(1.98 \le Z)$$

$$=1 - P(Z \le 1.98)$$

$$=1 - (0.5 + P (0 \le Z \le 1.98))$$

$$=0.5 - P (0 \le Z \le 1.98)$$

$$=0.5 - \Phi(1.98)$$

$$=0.5-0.47615$$

- **=0.02385**. 【3点】
- (3) $P(X \le c) = 90\%$ を満たす数 c

$$0.9 = P(X \le c)$$

$$=P\left(\frac{X-140}{5} \le \frac{c-140}{5}\right) = P\left(Z \le \frac{c-140}{5}\right)$$

$$=0.5 + P\left(0 \le Z \le \frac{c-140}{5}\right)$$
[2 点]

$$=0.5+\Phi\left(\frac{c-140}{5}\right).$$

よって, c は $\Phi\left(\frac{c-140}{5}\right)=0.4$ を満たす数である. 正規分 布表より、 $\frac{c-140}{5}$ = 1.28. よって、

$$c = 1.28 \times 5 + 140 =$$
146.4.

- **3** 鋼棒の製造工程において, その直径 *X* は平均 2 インチ, 標準偏差 0.008 インチの正規分布に従うとする. このとき, 次の間に答えなさい.
 - (1) 鋼棒の直径が 2 インチから 0.02 インチより離れているものは, 不良品となるとき, 不良品の割合は平均的に何%と考えるべきか. 【5 点】

$$P(|X - 2| > 0.02) = 1 - P(2 - 0.02 \le X \le 2 + 0.02)$$

$$= 1 - P\left(-\frac{0.02}{0.008} \le \frac{X - 2}{0.008} \le \frac{0.02}{0.008}\right)$$

$$= 1 - P(-2.5 \le Z \le 2.5)$$

$$= 1 - 2P(0 \le Z \le 2.5)$$

$$= 1 - 2\Phi(2.5)$$

$$= 1 - 2 \times 0.49379$$

$$= 0.01242.$$

よって、不良品の割合はおよそ 1.24% である.

(2) 不良品の割合を 4% とするためには, 2 インチから最大 どの程度の偏差(誤差)をもつものまでを良品として 許容すべきか. 【5 点】

$$P(|X - 2| > \varepsilon) = 0.04$$

を満たす ε を求める.

$$\begin{aligned} 0.04 &= P(|X-2| > \varepsilon) \\ &= 1 - P\left(2 - \varepsilon \leqq X \leqq 2 + \varepsilon\right) \\ &= 1 - P\left(-\frac{\varepsilon}{0.008} \leqq Z \leqq \frac{\varepsilon}{0.008}\right) \\ &= 1 - 2P\left(0 \leqq Z \leqq \frac{\varepsilon}{0.008}\right) \\ &= 1 - 2\Phi\left(\frac{\varepsilon}{0.008}\right) \\ &\iff \Phi\left(\frac{\varepsilon}{0.008}\right) = \frac{0.96}{2} = 0.48. \end{aligned}$$

正規分布表より, $\frac{\varepsilon}{0.008} = 2.05$ であるから,

$$\epsilon = 2.05 \times 0.008 =$$
0.0164.

• (1)(2) ともに片側だけで確率を求めている場合は、それ ぞれ部分点【2点】加点する。

- 4 表と裏の出やすさが同じである硬貨を 4040 回投げるときに、表が出る回数を X とする. このとき、次の間に答えなさい.
 - (1) *X* は二項分布に従う確率変数と考えられる. *X* の期待値と分散の値を答えなさい. 【5点】

X は 二項分布 $B\left(4040, \frac{1}{2}\right)$ に従うので、期待値は、

$$\mu = 4040 \times \frac{1}{2} =$$
2020,

分散は

$$\sigma^2 = 4040 \times \frac{1}{2} \times \left(1 - \frac{1}{2}\right) = \mathbf{1010}$$

である.

- 片方だけ求めている場合は【2点】
- ただし、(2) において、X が N(2020,1010) に従うとして計算している場合は【5点】.
- (2) *X* が近似的に正規分布に従うとして,表が 2048 回以上 でる確率を求めなさい. 【5点】

• 正規分布に近似して確率を求める際, ±0.5 補正をしていない場合は【1 点】減点する.

5 ある地方の小学校新入生男子の平均身長 μ を調べたい. そのため、900 人を無作為抽出したら、平均は 116.2cm であった. 過去の資料から、小学校新入生男子の身長は、標準偏差 $\sigma=4.86$ cm の正規分布に従うと考えられる. 平均身長 μ の信頼度 95% と 90% の信頼区間をそれぞれ求めなさい. 【15 点】

900 人分の平均を \bar{x} とおくと、これは $N(\mu,4.86^2/900)$ に従う確率変数のひとつの現実値である。信頼度 β の信頼区間を

$$[\bar{x} - \varepsilon, \bar{x} + \varepsilon], \quad \bar{x} = 116.2$$

とおくと.

$$\begin{split} \beta = & P(\bar{x} - \varepsilon \leqq \mu \leqq \bar{x} + \varepsilon) \\ = & P(-\varepsilon \leqq \bar{x} - \mu \leqq \varepsilon) \\ = & P\left(-\frac{\varepsilon}{4.86/\sqrt{900}} \leqq \frac{\bar{x} - \mu}{4.86/\sqrt{900}} \leqq \frac{\varepsilon}{4.86/\sqrt{900}}\right) \\ = & 2P\left(0 \leqq Z \leqq \frac{\varepsilon}{4.86/\sqrt{900}}\right) \\ = & 2\Phi\left(\frac{\varepsilon}{4.86/\sqrt{900}}\right). \qquad \textbf{[5 点]} \end{split}$$

信頼度 $\beta = 0.95$ のとき,

$$\begin{split} &\Phi\left(\frac{\varepsilon}{4.86/\sqrt{900}}\right) = \frac{0.95}{2} = 0.475\\ &\iff \frac{\varepsilon}{4.86/\sqrt{900}} = 1.96 \qquad \texttt{[3 点]}\\ &\iff \varepsilon = 1.96 \times \frac{4.86}{\sqrt{900}} = \frac{1.96 \times 4.86}{30} = 0.31752. \end{split}$$

よって、信頼限度は 116.2 ± 0.32 であるから、信頼区間は

[115.88, 116.52]

である.【2点】

一方、信頼度 $\beta = 0.9$ のとき、

$$\begin{split} &\Phi\left(\frac{\varepsilon}{4.86/\sqrt{900}}\right) = \frac{0.9}{2} = 0.45\\ &\iff \frac{\varepsilon}{4.86/\sqrt{900}} = 1.64 \qquad \text{[3 f.]}\\ &\iff \varepsilon = 1.64 \times \frac{4.86}{\sqrt{900}} = \frac{1.64 \times 4.86}{30} = 0.26568. \end{split}$$

よって、信頼限度は 116.2 ± 0.27 であるから、信頼区間は

[115.93, 116.47]

である.【2点】

- **6** ある精密機器メーカーでは、直径の平均が $\mu = 3.32$ cm、標準偏差 $\sigma = 0.03$ cm のボルトを製造していた。ある日、10 個のボルトを任意に抽出したら、直径の平均が 3.34 cm であった。このボルトの製造機械は正常に動作しているだろうか?有意水準 5% で検定しなさい。【15 点】
 - (1) 帰無仮説 H_0 を「直径の平均は $\mu = 3.32 \mathrm{cm}$ である」と する、【3 点】
 - (2) 対立仮説 H_1 は「 $\mu = \mu_1 \neq 3.32$ cm である」とする.【3 点】 (片側検定の場合は、-1 して【2 点】)
 - (3) 10 個の標本平均 $X=\frac{1}{10}(X_1+\cdots+X_{10})$ を考えると、これは $N(\mu,0.03^2/10)$ に従う.【3 点】
 - (4) 対立仮説の設定から,両側検定する.よって,棄却域は

$$P(|Z| > k) = 0.05$$
 を満たす Z の全体

となる (ただし, Z は N(0,1) に従う確率変数).

$$0.05 = P(|Z| > k) = 2P(k < Z)$$

$$= 2(0.5 - P(0 \le Z \le k)) = 2(0.5 - \Phi(k))$$

$$\therefore \Phi(k) = 0.5 - \frac{0.05}{2} = 0.475$$

$$\therefore k = 1.96.$$

よって, 棄却域の不等式は

$$|Z| > 1.96 \iff \left| \frac{\bar{X} - 3.32}{0.03/\sqrt{10}} \right| > 1.96$$

 $\iff \left| \bar{X} - 3.32 \right| > 1.96 \times \frac{0.03}{\sqrt{10}} = 0.01859...$

である. つまり, 棄却域 W は |w-3.32|>0.01859 を満たす w の全体である. 【3 点】

(5) 今, サイズ 10 の実測値が 3.34 だが, これは

$$|3.34 - 3.32| = 0.02 > 0.01859$$

より、 \mathfrak{g} 却域に含まれるので、 H_0 は \mathfrak{g} 却される。【3 点】 つまり、 製造機械が正常に動作しているとはいえない。